

附設卒業後55年にして思うことをメッセージパネルに

我々5回生が入学したのは昭和29年(1954年)4月の、桜満開、陽光麗らかな日であった。

もはや戦後ではないと云われ始めたものの、世の中にはまだ貧しさが残っている時代であった。

旧陸軍兵舎跡の薄暗い教室であったが、そこで学んだ3年間で今となつてはなつかしく

思い出される。

振り返ってみて附設に通って良かったと思うこと、まずは我々を教育してくださった先生方が

すばらしかったことである。大学から来られていた方、旧制中学等で教鞭を取られた方等

経験豊かな先生達から教科書以外にも、人間としての教養を数多く教わったことである。

次に学舎の周囲の環境に恵まれていたこと。名峰高良山を望み、周りは緑豊かな田園風景で

毎日が楽しい学校生活であった。

最後に幅広い友達関係を持つことが出来たこと。我々5回生は約150名であったが、殆どが

福岡県筑後地区一円からの入学で、それまでの小、中学時代と違い幅広い友人関係を

築くことが出来た。今でもその絆は固い。

我々5回生も卒業55年経過。夢多かつた3年間でなつかしく思い出すと共に附設高校の

輝かしい歴史が続くことを祈って思考回廊のメッセージパネルとした。

(5回生)